



平成20年3月期 決算説明資料

平成 20年 6月 4日

トーイン株式会社



証券コード：7923

平成20年3月期 決算概要

注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前年比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総括

当事業年度の業績は、包装資材事業については、営業体制の充実強化を図るとともに、生産量に応じたフレキシブルな生産シフト体制の編成等を推進しましたが、樹脂製の大型販促品の企画が減少し、樹脂パッケージ部門の売上が減少したことなどにより、売上高は前事業年度比2.8%減の8,667百万円となりました。精密塗工事業は、新規客先および新規分野の需要先を積極的に開拓したことなどにより、前事業年度に大幅に減少した売上について、拡大基調を回復し、売上高は前事業年度比59.5%増の1,699百万円となりました。その他事業は、野田事業所の受託包装や販促品の商品販売が低迷したことなどにより、売上高は前事業年度比13.0%減の659百万円となりました。

この結果、平成20年3月期の全体の売上高は、前事業年度比2.6%増の11,025百万円となりました。

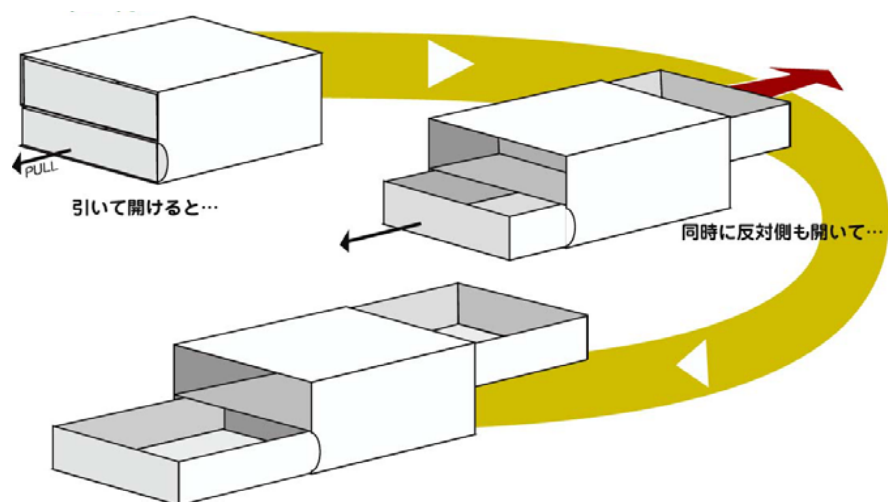
収益面については、包装資材事業は、生産効率の向上、原材料の海外調達による原価低減、前事業年度からの原材料等の値上げに対する適正価格への改定などにより回復基調となったものの、下期には原油価格の最高値更新等に伴う諸材料等のさらなる価格上昇に対して販売価格の改定を十分に実施できなかったこと、樹脂パッケージ部門の売上計画とラベル部門の収益改善が計画どおりに進まなかったこと、また、その他事業は、野田事業所の受託包装および販促品の商品販売の売上が低迷したことが、主な減益要因となりました。一方、精密塗工事業は、生産管理および品質管理体制の充実・整備により、生産効率の向上と高品質製品の安定供給を継続したことなどにより、増益基調を回復しました。この結果、営業損益は前事業年度比107百万円減の29百万円の損失、経常損益は前事業年度比101百万円減の63百万円の損失となりました。当期純利益は、株式売却益83百万円を計上したことにより、前事業年度比40百万円減の16百万円となりました。

<当期のトピックス>

平成19年12月 バーゴパック・ジャパン(株)とバーゴパックに関するライセンス契約を締結する。

バーゴパックとは

- 二段重ねの構造をした函で、段の一方を引出すと他の段も同時に逆方向に引出される函です。(下図ご参照下さい)
- 化粧品・医薬部外品・食料品・DVD・PCソフトなどのパッケージに利用できます。また、新製品プレゼンテーション(発表会・展示会・見本市)や特典付き初回限定品のパッケージに最適です。



一瞬で心をつかむ感動のオープニング
手にしたら離せない
《おもしろ飛び出す函》

- ☆ 期待の新製品(限定品など)が登場した時のインパクトを強調できます
- ☆ 函を手にした消費者に“おっ!?”という感動を与えます
- ☆ 商品陳列台で一段と目立ち、購入意欲を高めます
- ☆ メーカーブランドお取扱店の好感度・印象アップにつながります

平成20年3月期 損益計算書

(単位：百万円)

	当事業年度 (H20/3)		前事業年度 (H19/3)		対前年比	備 考
売 上 高	11,025	% 100.0	10,742	% 100.0	282	精密塗工の売上増など
売 上 原 価	9,686	87.9	9,271	86.3	414	諸材料価格の上昇など
売 上 総 利 益	1,339	12.1	1,470	13.7	△131	
販 売 費 及び 一般管理費	1,368	12.4	1,393	13.0	△24	
営 業 利 益 または 損失(△)	△29	△0.3	77	0.7	△107	
営 業 外 収 益	36	0.3	30	0.3	6	
営 業 外 費 用	70	0.6	69	0.6	0	
経 常 利 益 または 損失(△)	△63	△0.6	38	0.4	△101	
特 別 利 益	85	0.8	3	0.0	81	保有株式の売却など
特 別 損 失	8	0.1	23	0.2	△14	
当 期 純 利 益	16	0.1	56	0.5	△40	

平成20年3月期 貸借対照表

(単位：百万円)

	当事業年度 (H20/3)		前事業年度 (H19/3)		対前年比	備 考
流動資産	6,761	44.8 %	6,315	40.0 %	446	現預金の増加
固定資産	8,328	55.2	9,473	60.0	△ 1,144	
有形固定資産	6,763	44.8	7,346	46.5	△ 583	減価償却累計額の増加
無形固定資産	41	0.3	39	0.3	1	
投資その他の資産	1,524	10.1	2,087	13.2	△ 563	保有株式売却・株式含み益の減少
《資産合計》	15,090	100.0	15,788	100.0	△ 698	
流動負債	3,897	25.8	3,961	25.1	△ 63	支払手形の減少
固定負債	2,201	14.6	2,542	16.1	△ 340	長期借入金・繰延税金負債の減少
《負債合計》	6,099	40.4	6,503	41.2	△ 404	
株主資本	8,819	58.5	8,927	56.6	△ 108	
資本金	2,244	14.9	2,244	14.2	—	
資本剰余金	2,901	19.2	2,901	18.4	0	
利益剰余金	4,129	27.4	4,238	26.9	△ 109	配当金の支払
自己株式	△ 456	△ 3.0	△ 457	△ 2.9	1	
評価・換算差額等	171	1.1	356	2.2	△ 185	株式含み益の減少
《純資産合計》	8,991	59.6	9,284	58.8	△ 293	
《負債 純資産合計》	15,090	100.0	15,788	100.0	△ 698	

平成20年3月期 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

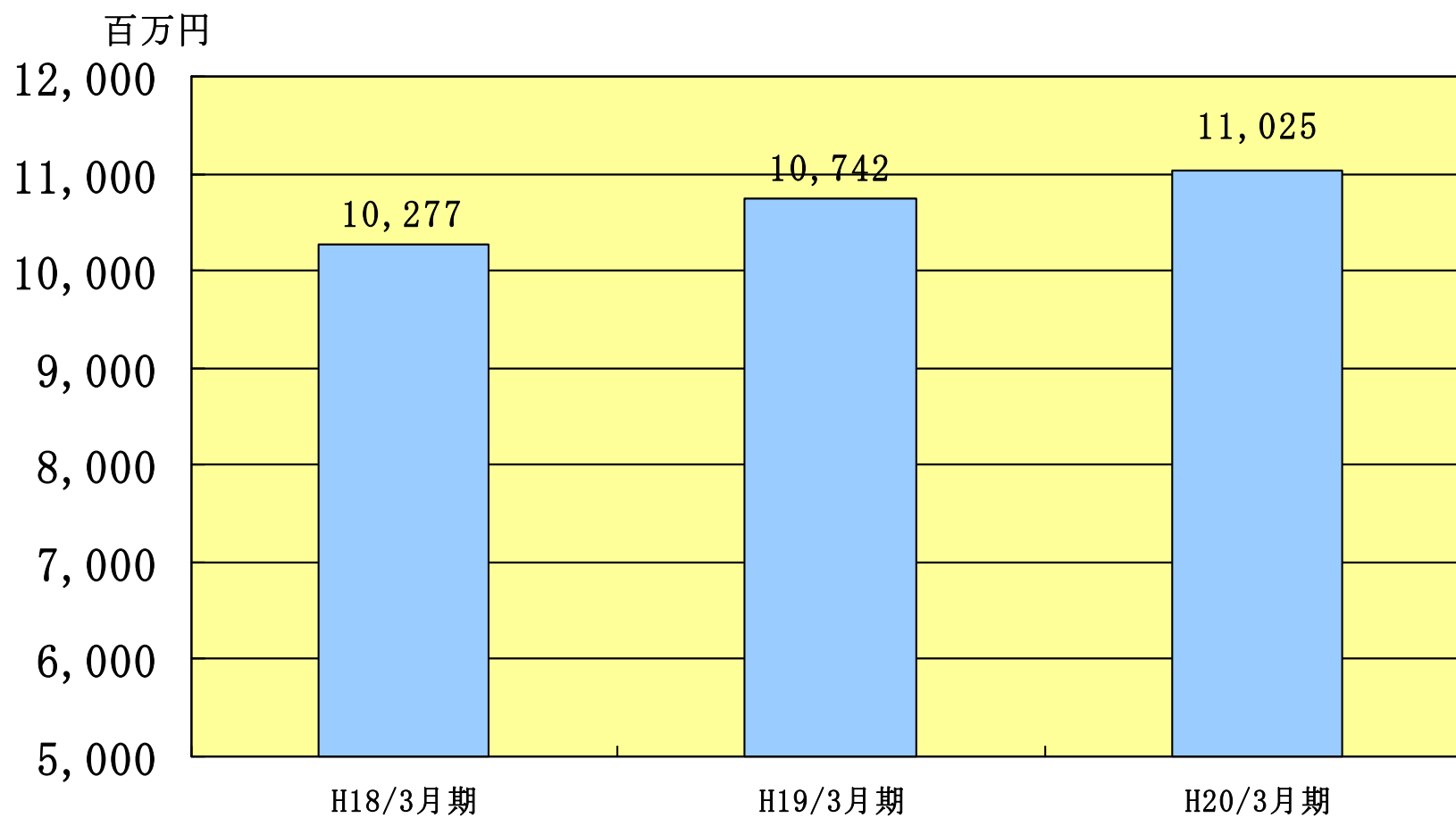
	株 主 資 本								評価・ 換算 差額等 合計	純資産 合計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利益剰余金			計	自 己 株 式	計		
			利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金						
				任 意 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金					
H19年3月31日 残高	2,244	2,901	369	3,488	381	4,238	△457	8,927	356	9,284
当事業年度中の変動額										
固定資産圧縮積立金取崩				△55	55	—		—		—
剰余金の配当					△125	△125		△125		△125
当期純利益					16	16		16		16
自己株式の取得							△0	△0		△0
自己株式の処分		0					1	1		1
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額									△185	△185
当事業年度中の変動額合計	—	0	—	△55	△53	△109	1	△108	△185	△293
H20年3月31日 残高	2,244	2,901	369	3,432	327	4,129	△456	8,819	171	8,991

キャッシュ・フロー計算書

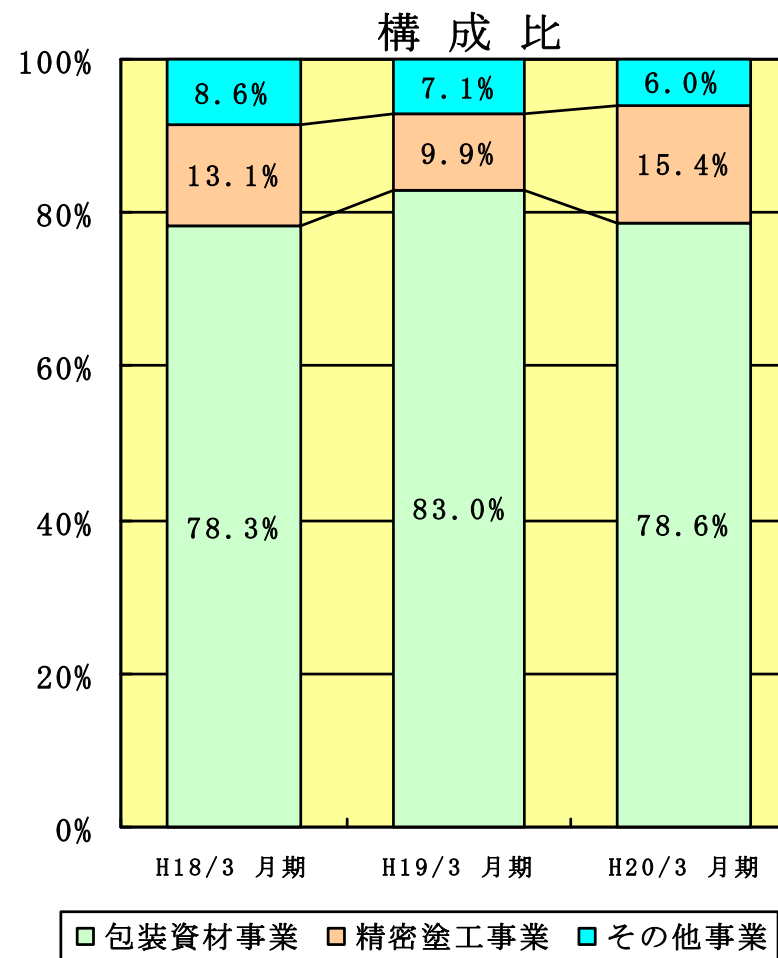
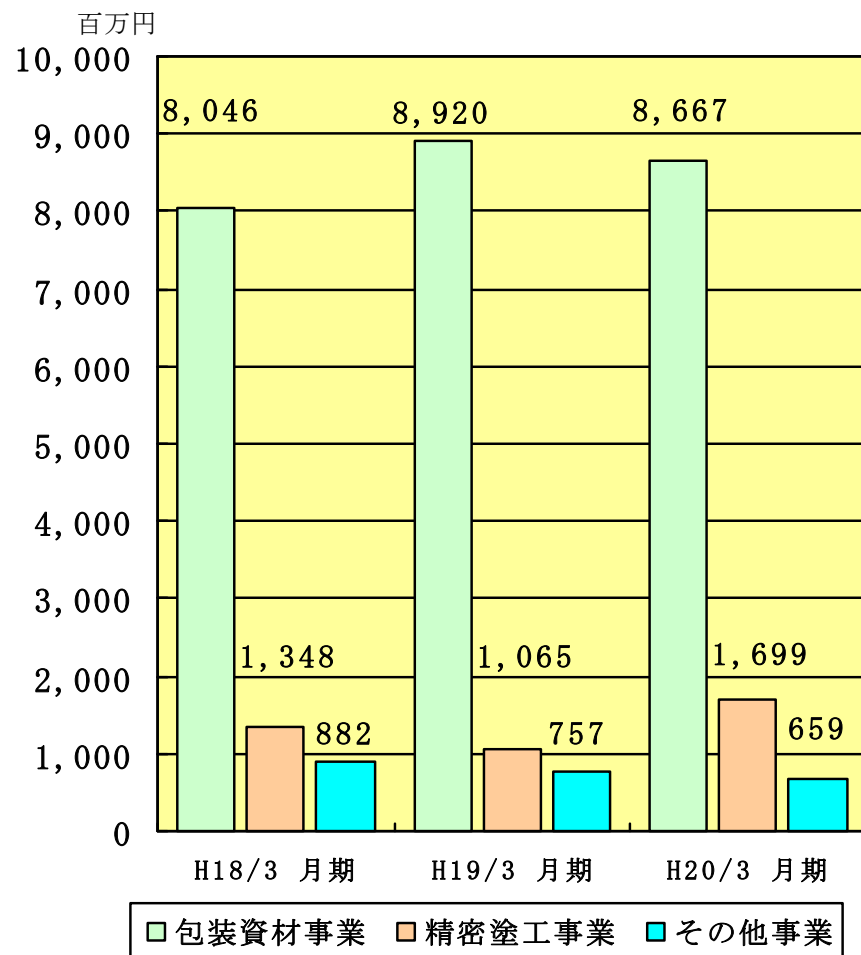
(単位：百万円)

	当事業年度 (H20/3)	前事業年度 (H19/3)	当事業年度の特記
営業活動による キャッシュ・フロー	722	692	減価償却費 863百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△80	△1,710	有形固定資産取得による支出 355百万円 有価証券売却による収入 347百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△231	162	長期借入金の純減額 89百万円 配当金の支払額 124百万円
現金及び現金同等物 の増減額	409	△855	
現金及び現金同等物 の期首残高	1,861	2,717	
現金及び現金同等物 の期末残高	2,271	1,861	

売上高の推移

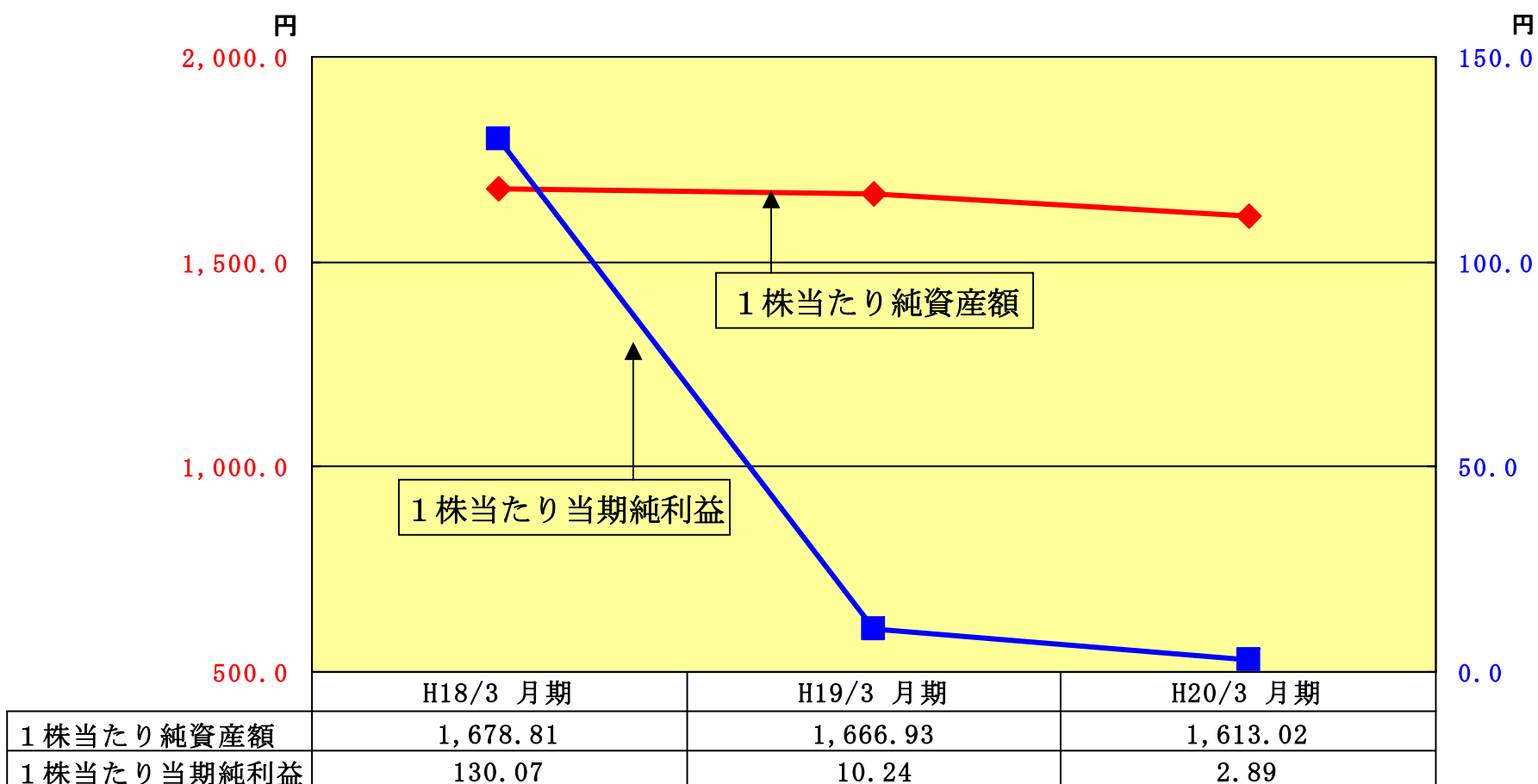


事業別 売上高

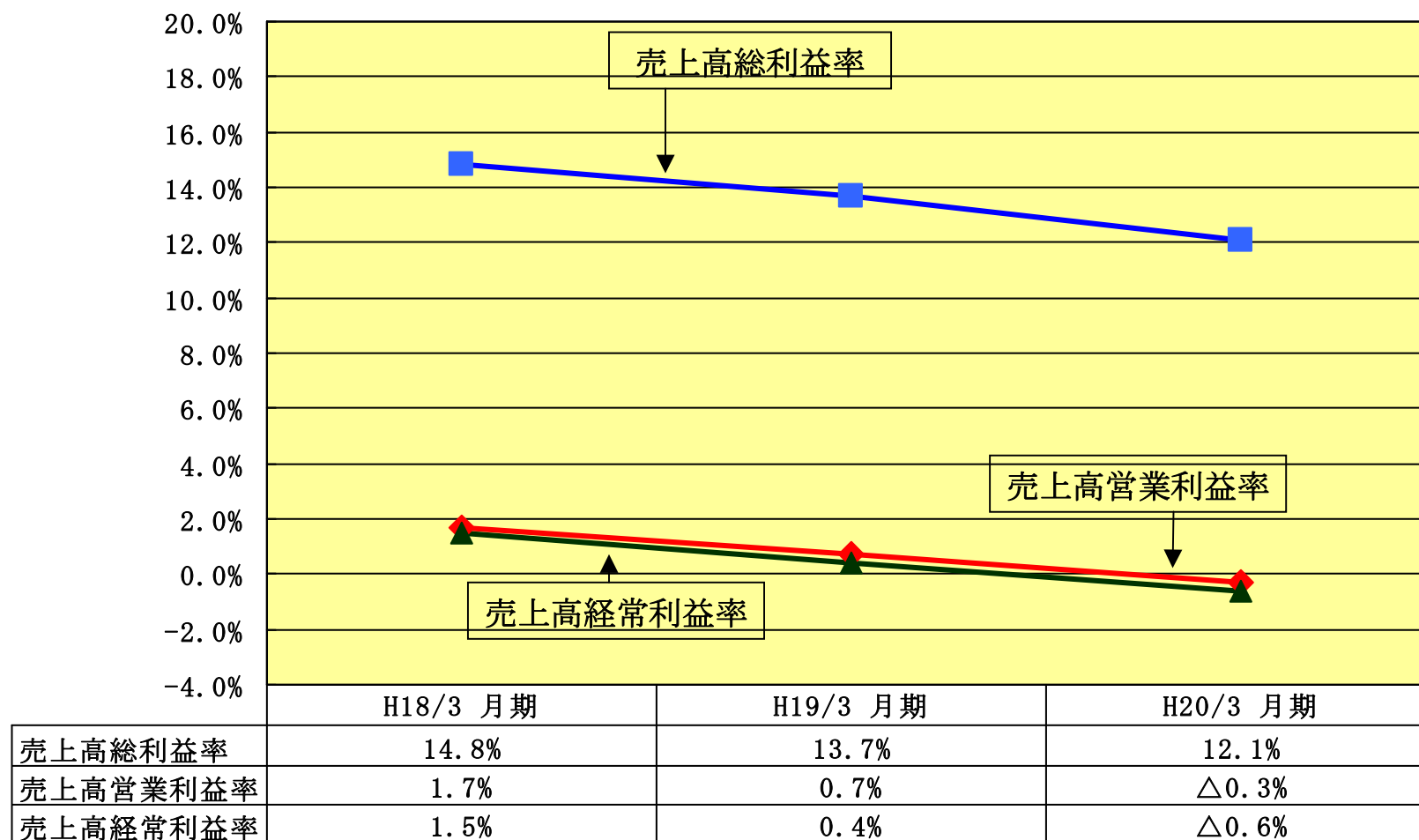


經營指標

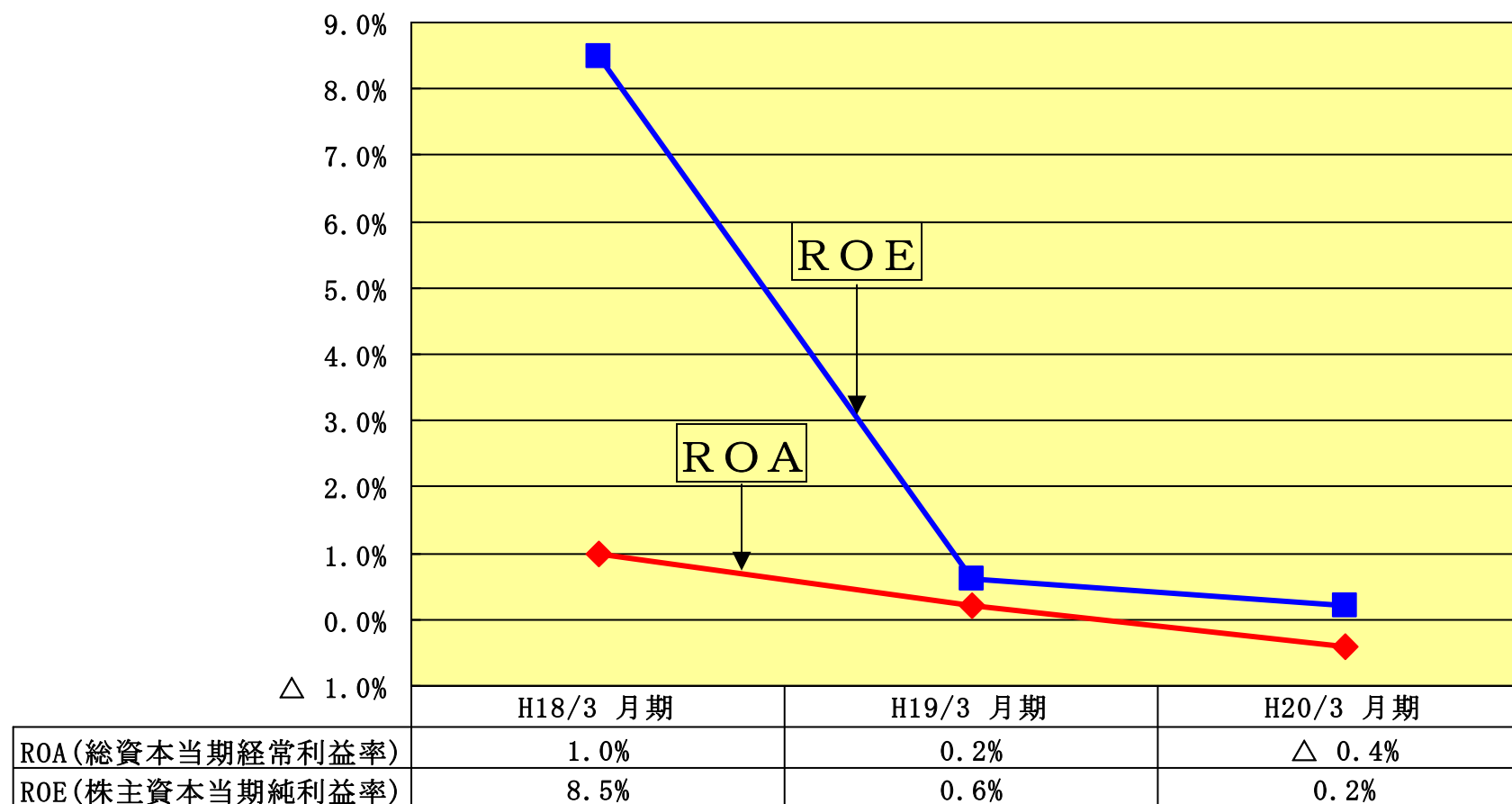
経営指標 I



経営指標Ⅱ



経営指標Ⅲ



平成21年3月期 業績予想

平成21年3月期の業績予想について

今後の国内経済は、景気は徐々に下降傾向にあり、米国経済の減速懸念、原油価格や為替相場の動向など先行き不透明な要素もあり、予断を許さない状況が続くことが予測されます。また、包装資材業界においては、諸物価の上昇や社会保障制度に対する将来不安などの影響により、個人消費は低調に推移することが見込まれ、原材料価格等のさらなる再値上げが打ち出されるなど、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されます。このような中、包装資材事業については、時代の要請とお客様のニーズにあった環境・安全志向にも配慮し、樹脂パッケージ部門・ラベル部門を重点に企画提案型の営業活動の展開、新規客先の積極的な開拓を行うとともに、原材料等の価格の上昇に対する適正価格への改定と製造コストの低減に積極的に努めてまいります。また、海外事業拠点および海外関連会社との連携により、製品および原材料の海外調達等による原価低減を推進し、生産面においては、フレキシブルな生産シフト体制の編成等による生産効率の向上と品質保証体制の強化による品質向上を図り、収益基盤の安定化に努めてまいります。精密塗工事業については、この分野の用途は裾野が広く、事業拡大の潜在的な要素を持つため、新規客先および新規分野の需要先を引き続き開拓し、安定的また成長性のある受注の確保・拡大に努めるとともに、生産管理および品質管理体制をさらに充実させ、生産効率の向上と高品質製品の安定供給を図ってまいります。その他事業については、受託包装分野の医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用した営業戦略の展開により受注拡大を図るとともに、生産効率の改善および徹底した衛生・品質・安全保証体制の維持・向上を図ってまいります。

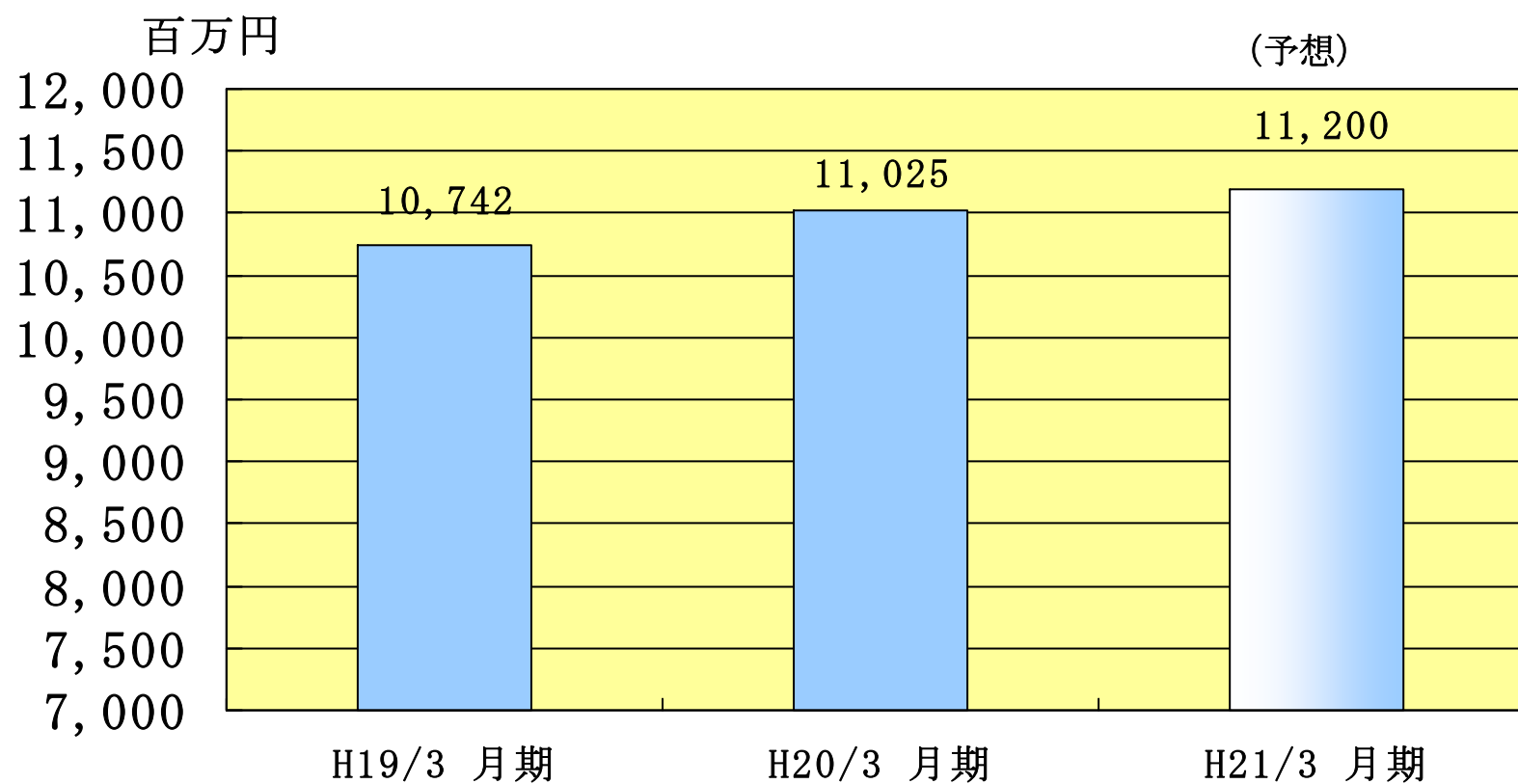
この結果、次期の業績見通しは、売上高11,200百万円、営業利益70百万円、経常利益27百万円、当期純利益39百万円を見込んでおります。

平成21年3月期の業績予想

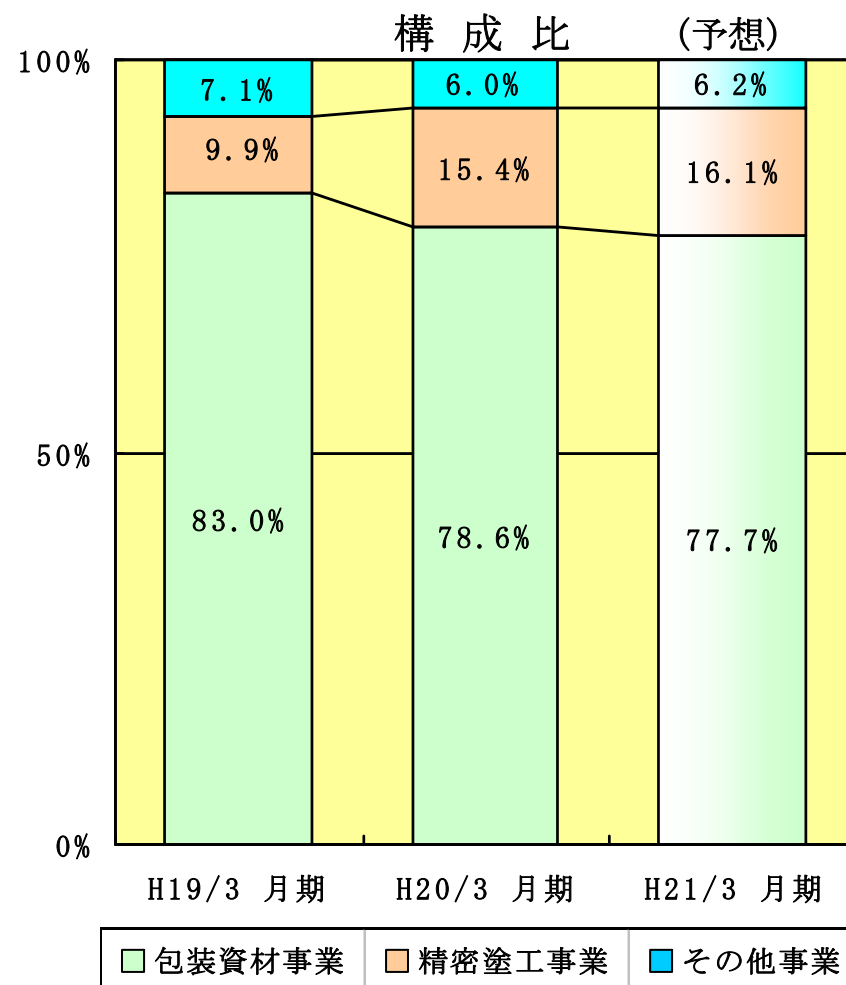
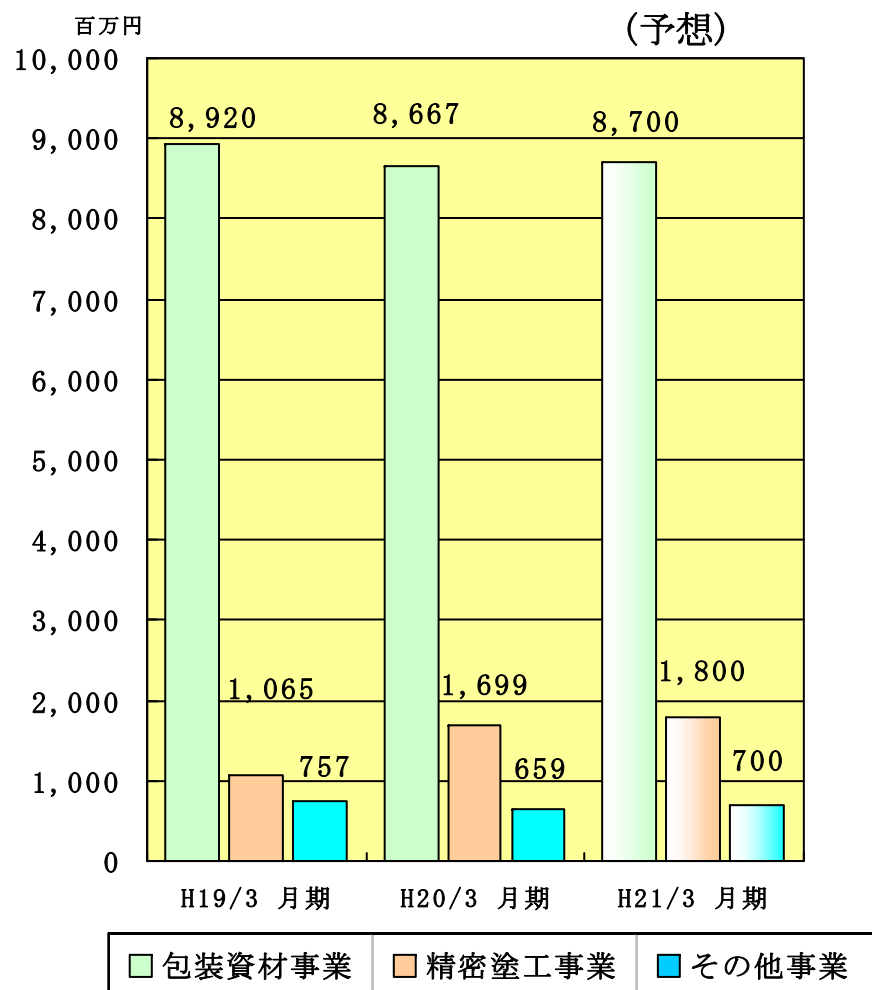
(単位：百万円)

	上期(予想)		下期(予想)		通期(予想)	
		%		%		%
売上高	5,600	100.0	5,600	100.0	11,200	100.0
営業利益	20	0.4	50	0.9	70	0.6
経常利益	0	0	27	0.5	27	0.2
当期純利益	6	0.1	33	0.6	39	0.3

通期売上高



事業別 売上高



事業区分の変更について

事業区分について、平成19年3月期までは「包装資材事業」「精密機器関連事業」の2区分で表示しておりましたが、事業内容が多様化するとともに精密塗工事業の重要性が増してきたことに伴い、事業区分別情報の有用性を高めるため、平成20年3月期から以下の3区分に変更いたしました。

- ・「包装資材事業」 紙器、樹脂パッケージ、ラベル、説明書等
- ・「精密塗工事業」 電子部材、記録媒体、建材等
- ・「その他事業」 食品・化粧品・医薬部外品等の加工・セット、販促品等の商品販売

経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場にたって、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

またグローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

<経営理念>

- | | |
|-----------|----------------|
| ・ お客様に学べ | それが社会への貢献につながる |
| ・ 技術革新に挑め | それが会社の発展につながる |
| ・ 夢と利益を追え | それが皆の幸福につながる |

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーイン株式会社

●本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1

TEL : 04-7131-2111(代) FAX : 04-7132-6937

●東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2

TEL : 03-5627-9111(代) FAX : 03-3638-1134

●野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5

TEL : 04-7120-8805(代) FAX : 04-7120-8017

ホームページURL <http://www.toin.co.jp>

●本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL : 03-5627-9111 FAX : 03-3638-1131